

12月議会特集
日本共産党県議団
電話 099-286-2111
(内線 5100)

県議会ニュース

2005年1月
発行 県議会ニュース社
〒890-0067
鹿児島市真砂本町 42-9
電話 099-251-7333

県議団ホームページ
<http://jcp-kagoshima.com>

メールアドレス
m-matsuzaki@jcp-kagoshima.com

直通電話・ファックス
099-286-3977

切実な県民要求からかけて 知事に対して 予算要望

まつざき真琴県議は、伊藤県知事に対して、2005年度予算編成にあたっての要望と県政刷新大綱策定にあたっての要望とを行いました。その主なものについてお知らせします。

「県政刷新大綱」策定にあたっての要望

【歳出削減の取組について】

- 住民サービスの低下や職員の過重負担を招く職員の縮減は行わないこと
- 県知事および副知事、出納長の退職金制度を見直すこと
- 国の制度の変化や高齢化に応じて必要な扶助費は増額も含めて確保すること
- ムダな大型開発の公共事業をやめ、公営住宅の建設、生活道路の改善、特別養護老人ホームの建設や学校の耐震調査や施設改善など、生活密着型の公共事業に切り替え、中小零細企業の仕事を確保すること
- 入札制度を談合防止に実効あるものに改善すること

【歳入確保の取組について】

- 国の「三位一体改革」に対して、国民の生存権、基本的人権にかかる責任を国が財政的に保障するよう国に強く求めること
- 農林漁業の振興や中小零細企業を支援し、福祉や教育を充実させ、県民の安心と行政への信頼を得る施策を講じることで增收を図ること
- 県民の福祉の向上に反する県税减免措置の見直しあはこなわないこと
- 使用料・手数料を値上げしないこと

予算編成にあたっての要望

【重点項目】

- 人工島建設は即刻中止すること
- 市町村合併の押しつけをやめ、合併しない自治体へ財政的支援を講じること
- 県立高校の「再編計画」については、存続させるために必要な方策について地元と十分の協議すること
- 農林漁業の振興のために、本県の実態に即した家族経営や小規模経営体のための支援を強めること
- 乳幼児医療費を窓口無料化すること
- 中小零細企業への支援を強めること



日本共産党県議会議員
まつざき真琴

ごあいさつ
いよいよ県議として、折り返しの年
を迎えます。

日本共産党の立党の精神である「國民の苦難と要求のあるところ日本共産党あり」を常に心に持ち、本年も全力でがんばります。



2003年度決算について

まつざき真琴県議は、決算認定にあたって、問題点を指摘し、反対しました。

県債（借金）に頼りながらの予算執行

2003年度歳入総額9458億9600余万円のうち、実に18.5%の1753億6400余万円が県債であります。

この中には、昨年度末、国の三位一体改革の影響で、地方交付税と臨時財政対策債が大幅削減され、急きよ補正で組まれた150億円の財政健全化債も含まれます。これは、後に交付税措置されることではなく、丸々借金となるものです。

その結果、2003年度末県債残高は1兆5980億円にものぼっています。

ムダな人工島建設や同和対策はやめるべき

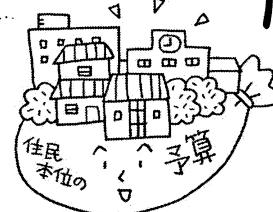
2003年度に人工島に費やされた事業費は21億円にものぼります。伊藤知事は、1工区はこのまま工事を続け、2工区の埋め立てについては県民の意見を聞いて決めるとしていますが、1工区についても、供用のための護岸や岸壁、橋梁などの工事にまだ40億円もかかります。人工島建設は即刻中止しかないのではないかでしょうか。

また、人権啓発推進事業に1億7000万円が使われています。内、県内9カ所の隣保館に総額6500万円の補助金、また、部落解放同盟鹿児島県連絡会をはじめ3つの運動団体に総額3450万円の補助金が支払われています。「人権」の名をかりた「同和」対策はやめて、本当に大切な人権の問題は、一般施策の中で展開すべきであります。

ムダを削って県民の暮らし・福祉守る県政を！

12月議会では、2003年度決算認定議案や市町村合併議案3件、県職員の旅費や特殊勤務手当の条例改正議案など、30件の議案についての審議がなされました。今議会では、まつざき真琴県議は一般質問ができませんでしたが、行財政改革特別委員会に委員外議員として出席し、最終本会議では、反対討論に立ち、議案に対しての日本共産党の立場を明らかにしました。

また、今議会では、非核・平和宣言では九州各県で最後の決議となった「無差別大量破壊兵器廃絶・世界の恒久平和を希求する鹿児島県宣言」を決議しました。今議会での、まつざき真琴県議の反対討論の主な内容について、お知らせいたします。



志布志港の整備工事について

志布志港の新若浜地区において、ポンプしゅんせつによって12ヘクタールの埋め立てを行うという16億1700万円の工事の契約議案について、3点にわたって問題点を指摘し、反対しました。

先に開発ありきの計画

志布志港では、新若浜地区に、埋め立てによって、水深14メートルのバースを2つ作り、最終的にはふとう用地だけで41.7ha、港湾関連用地が25.4ha、緑地が20.1haという全体で90haにも及び壮大な埋め立て事業がすすめられています。これまで費やした事業費が225億円、これから先の工事も含めると事業費は総額1,000億円にものぼるだろうと言われています。

この埋め立て計画は、1993年決定の鹿児島県総合基本計画第2期実施計画に、国内・国際物流拠点として盛り込まれており、コンテナ貨物の需要と関係なく、先に開発ありきで進められたことは明らかです。

本当に必要な事業であるのか

志布志港では畜産関係の飼料やその原材料の輸入品が主な取り扱いとなっていますが、国においては、WTOやFTA交渉など、本県の農業にも重大な打撃を与えるかねない施策が展開されています。畜産業をはじめ農業の振興のためには、価格保障や飼料への補助など、農家への支援こそ必要ではないでしょうか。

莫大な地元負担

地元の志布志町では、これまで若浜地区の埋め立てについては、その後の企業立地により2000人の雇用が見込めるということで地元負担がなされてきましたが、結局、雇用はその1割の200人にも満たないのが実情です。新若浜地区の整備についても志布志町では、毎年、港湾改修負担金として2億7000万円ほど負担してきており、財政基盤の弱い地方自治体の財政をよりいっそう圧迫するものです。



市町村合併議案について

栗野町と吉松町を廃し湧水町を、大根占町と田代町を廃し錦江町を、根占町と佐多町を廃し南大隅町を設置するという議案について、その問題点を指摘し、反対しました。

住民負担の変化が明らかにされず

たとえば介護保険料は、第5段階では大根占町が4,950円であるのに対し、田代町は5,700円となっていますが、「18年度以降に調整し、設定する」として、現時点でどうかわるのか明らかにされていません。

根占町と佐多町では国保税の差が大きく、1世帯あたり根占町は82,043円、佐多町は114,492円となっていますが、「18年度統一する」としか明らかにされていません。この他、乳幼児医療費助成や出産祝い金や保育料など多くの制度が「合併までに調整する」として具体的に明らかにならないまま合併が決められました。

3月の期限に固執せず、慎重に検討し、住民の意思を確認すべき

現行の特例法の期限が3月末に迫る中で、「合併特例債のあるうちに」と合併の是非も十分に検討しないまま、とにかく合併申請を間に合わせるということが進められています。

しかし、4月施行の新法も基本的には現行法の延長と言えるもので、地方債の優遇についても地方交付税の算定についてもそれほどの変化はありません。

合併については、時間をかけて慎重に検討し、その内容を住民に明らかにした上で、住民投票などで、住民の意思をしっかりと確認することが必要です。



議案・意見書に対する各党の態度

- 否決すべき、不採択すべき
- 可決すべき、採択すべき

社民…社民・無所属連合
自連…自由連合

まつざき真琴県議は、「自衛隊のイラクからの速やかな撤退を求める意見書」を提案しました。日本共産党と共に社民・無所属連合、自由連合の議員が共同提案者となり、最終本会議ではまつざき真琴県議が提案理由の説明を行いました。採決の結果、賛成少数で否決されました。

このほか、議案に対しての各会派の態度は、下記のようになりました。

議案・意見書	共産	自民	社民	公明	自連	無所属				採決結果
平成15年度県歳入歳出決算の認定についての議案	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	可決
市町村合併3件（湧水町、錦江町、南大隅町）についての議案	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	可決
契約締結（志布志湾埋め立て）の議案	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	可決
県職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正する議案	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	可決
訴え（県営住宅の高額所得者への退居を求める）の提起についての議案	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	可決
自衛隊のイラクからの撤退を求める意見書	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	否決
「無差別大量破壊兵器廃絶、世界の平和を希求する鹿児島県宣言」決議	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	採択



県議団事務局長がかわりました。

おさだみちこ
長田道子です。どうぞよろしくお願ひいたします。

※前任の北山清悟は、党鹿児島地区委員会勤務となりました。
お世話になりました。



生活相談のご案内

長引く不況のもと、自己破産や生活保護などの相談が増えています。一人で悩まずに、お気軽にご相談ください。

099-286-3977 (日本共産党県議会控室)

099-251-7333 (日本共産党県委員会)

099-295-8776 (日本共産党吉野事務所)

※吉野事務所は、毎週木曜日14:00~16:00の間
においていただか、お電話ください。

政治革新の道しるべ
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん赤旗

日刊●月2,900円
日曜版●月 800円